

Tana Medical Clinic & Naha Nishi Clinic
Information magazine "NINUFABUSHI"



ニヌファブシ

田名内科クリニック
那覇西クリニック
共同発行情報誌

5

2005.6

はじめに

本誌は那覇西クリニック・田名内科クリニックが共同で作成している広報誌「ニヌファブシ」の第5号です。おかげさまで5号目を発行することが出来ました。ご協力下さった方々に感謝し、これからも充実した内容をお届けできるよう頑張ります。

「にぬふあぶし」とは沖縄の方言で北極星の意味です。「ていんさくの花」にも歌われるように、灯りもない昔、人々は北極星を道しるべにしていました。そんな北極星のように、田名内科・那覇西両クリニックとも、地域に根ざし、皆さまから慕われるような病院でありたいという思いを込め名付けました。

那覇西クリニックトピックス



病院レク

那覇西クリニックの病院レク、ボーリング大会が平成17年4月9日に行われました。近くのボーリング場にてチーム対抗で競い合い、豪華景品を賭けて各チーム一致団結しゲームを行いました。職員全員とはいきませんでしたが、半分以上の職員が参加しとても盛り上がりました。その後パシフィックホテルにて結果発表、お疲れさま会を行いました。日頃の疲れも癒しつつ、年に1回の行事を楽しみました。できれば来年のレクは県外とは言いませんからもう少し遠出をしたいな！！



院内勉強会

4月27日に救急蘇生法についての勉強会を行いました。講師は玉城先生で、実際に器械などを使用しながらのとてもわかりやすく今後活かせる内容でした。



開院9周年パーティ!

お陰様で那覇西クリニックは開院9周年を迎えることができ、去る5月21日にハーバービューホテルにて9周年記念パーティーが開かれました。おいしい料理を食べ、カラオケなどで盛り上がり、楽しいパーティでした♪来年はいよいよ10周年を迎えます。10年目に突入する那覇西クリニック、これから増々パワーアップしていきますのでよろしくお願いします。



どうぞよろしく!

新しいメンバーが仲間入りしました。

那覇西クリニック
最高だネ♥

國場 悦子 (診療放射線技師)

今年3月から勤務しています。たくさんの方々にマンモグラフィ検診を受けてもらえるように、技術や知識を向上させて頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。



仲道 百合子 (看護師)

6月から勤務しています。分からない事だらけですが、先輩方にご指導受けながら頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



新田 知代 (看護師)

6月から看護師として勤務することになりました。透析室勤務は初めてのなので、戸惑うことがたくさんあると思いますが、楽しく明るいスタッフの指導の元で頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



深見 寿江 (看護師)

2月から働いています。まだまだ勉強中ですが、よろしくお願いします。



具志川 央野 (看護師)

3月末より入職し、外来に勤務しています。初めてのことも多く、ご迷惑をおかけするかと思いますが、一生懸命頑張ります。ご指導よろしくお願いします。



長嶺 沙野香 (看護師)

今年3月に看護学校を卒業し、初めての病院勤務で緊張の毎日です。未熟者ですが、いろいろな事を学んでいきたいと思うのでよろしくお願いします。

伊良波 綾子 (臨床心理士)

はじめまして。臨床心理士の伊良波です。5月から毎週月曜日に勤務しています。乳癌や他の病気とたたかっていく皆様の治療がスムーズにいくように気になる事、心配事をご一緒に考えていきたいと思っています。気軽に声をかけて下さいね。



「あなたのミズムシは この菌が原因です。」

那覇西クリニック
皮膚科 宮里 肇

近年医学雑誌にはEBMという略語がよく用いられております。Evidence based Medicineの略語で根拠に基づいた医療ということです。病気の治療に際して医師は経験や推測によってのみ行うのではなく、可能なかぎり科学的根拠や疫学的研究に基づいて行うべきであるという考え方です。

さて、私は皮膚科専門医として40年余にわたっていろいろな経験をしてまいりましたが、その間あいまいな説明がなされてきた事項が医学の進歩に伴い明解になってきたものもあり、患者様に説明しやすくなったものが少なくありません。皮膚科外来では医師は先ず患者様の皮膚の症状をしっかり観察し、現病歴を聴取して必要に応じ顕微鏡検査、病理組織検査、貼布試験、血液検査、放射線による検査などを行い、的確に診断をするようにしております。これらの検査の結果と皮膚の症状との関係について患者様によりよく理解し納得していただくよう努力してきました。

私は2年来、那覇西クリニックで週一度(火曜日の午後)皮膚科の診療を担当させていただいておりますが、昨年からは外来の顕微鏡に接続できるミニモニターが設置されるようになりました。真菌、疥癬虫、毛包虫などが原因の場合は1~2分の間に検出できますので、患者様も直ちに結果を見ることが出来ます。(図1) これまで少々時間を要した説明も一目瞭然“あなたのミズムシはこの菌が原因です”まさに百聞一見に如かずです。(図2) 診察時間も短縮され、医師と患者様の信頼関係もより密になったと考えます。医療機器の進歩が診療に貢献できるようになった一つの優れた例といえましょう。

患者様が自分の病気についてその原因をよく理解し、きちんと治療に協力して下されば、よりよい効果が得られ医師も患者様も満足できるというものです。

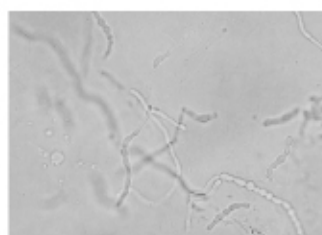


図1



図2



宮城 正

恨めしげ
梅雨空見上げ
主婦の顔

行楽地
子供喜ぶ
父ダウン

五月雨に
新緑濡れて
厚化粧

競い咲き
藍にさくらに
しのぶ花

★みんなの広場★
外来の患者さんからの作品を募集しました。
今後も続けていきますので、よろしくお願ひします。

大空に
はばたく鳥に
我が子見る
『いつて来ます』
後姿に
光り満ち

野々すみれ



健康情報

「乳腺症」 那覇西クリニック 医師 鎌田 義彦

視触診の乳癌検診などで左右の乳房の硬さが違ったり、同じ乳房でも少し硬い箇所があったりすると乳腺症などと言われることがあります。又、自分で乳房についてのなんらかの症状を自覚することもあります。

このようにして病院をおとずれ、超音波検査やマンモグラフィ検査の結果、「乳腺は正常ですよ」と言われる方は結構多いです。しかし、一部には「これは乳腺症ですね」と診断される方がいるのです。

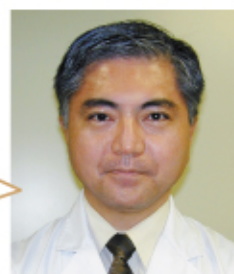
「乳腺症ですね。」「…」「???」「それって癌になりやすいのですか?」。診察室で毎日繰り返される問答。実は答えはそう簡単ではないのです。「乳腺症」は癌や腫瘍でない多くの「疾患」や乳腺の状態を表すのに用いられてきたからです。乳房の専門家の間でもやっとここ5年から10年の間に乳腺症について考え方がまとまってきたのが実情です。

超音波検査やマンモグラフィ検査の結果診断される乳腺症にも色々あります。「これは心配ありません。一年後の検診の時にまた診ましょう」と言えるものから、「半年後にもう一度超音波検査で大きくなっていないか確認させてください」と言うもの、「超音波検査やマンモグラフィだけでは判断が難しいですので、小さな針で細胞を採らせて下さい」となるものまであります。

乳腺症の中には通常よりも5倍位の確率で癌になりやすいものがあるとされています。でも、これは乳腺症と診断された方の100人中4人の頻度だと言われ多くはありません。そこで私たち「おっばいの専門家」の仕事は、乳腺症を正確に診断して安心して頂くことと、少し難しい乳腺症の場合は癌と誤診して不必要に切ったりせず、また逆に癌を見逃さないようすることだと言えます。



今年の6月1日より那覇西クリニックに入職しました。
大学病院に勤務を始めた20年近く前に「おっばい かまだ」と呼ばれて恥ずかしく思った頃がありましたが、今は「おっばい先生」の元で堂々いきいきと診療に励んでおります。どうぞよろしくをお願いします。



お知らせ

個人情報保護法に伴い、
当院では名前を呼ばれたくない方の申し出を受付けています。
希望される方は、受付へ申し出て下さい。

